

【研究費区分】： ミニ研究環

【研究代表者所属】： 都市環境学部・観光科学科

【研究代表者氏名】： 杉本興運

【研究代表者氏名フリガナ】： スギモトコウウン

【研究代表者職】： 助教

【研究分担者（所属,氏名,職）】

- ・三重大学・教育学部、磯野巧、講師
- ・秀明大学・観光ビジネス学部、飯塚遼、講師
- ・日本学術振興会、池田真理子、特別研究員 PD
- ・首都大学東京・都市環境学部、太田慧、特任助教
- ・流通経済大学社会学部、福井一喜、助教

【研究環組織名】：

- ・若者の観光需要と潜在性の評価：将来の観光市場の持続と発展に資する研究の拠点形成

【研究環 HP（*本研究環組織の HP を作成している場合は、その URL を記入してください。）】

- ・ <https://wakamonotourism.wixsite.com/wakamono>

【研究環の活動概要と、ここで形成された研究グループ・研究拠点の今後の研究活動について】（600～800 字程度で記入。図（組織図含）、グラフ等の使用も可。）

・本研究課題は、日本の国内観光市場における若者の観光需要と潜在性を客観的に評価し、将来の観光市場の持続と発展に資する若者観光振興の方向性を検討することを目的とした。また、そのための調査研究グループの拠点を形成し、産学官連携による活動への発展を促進させることを目指した。

本研究課題に採択される以前から実施していた研究（東京大都市圏における若者の観光・レジャーの実態）について、その成果を学術界以外の場へ発信するために、1）商業誌への論文投稿、2）社会人向け講座の実施、3）民間企業における研究部門との意見交換会を実施した。具体的には、地理学分野において有名な商業誌である月刊『地理』に地理空間学会などの学術誌で公表した論文を基に作成した6件の記事を投稿した。また、首都大学東京のオープンユニバーシティにて、「若者を通して見る最先端の都市型観光・レジャーとその可能性」に関する社会人向け講座を開催し、計10件の講義を行った。そして、大手の広告系企業にある若者研究の部署とお互いの研究に関する意見交換会を実施した。

最後に、東京大都市圏における若者観光の持続・発展の仕組みを検討するために、若者観光の現状だけでなく、若者の人口や雇用といった社会構造の側面についても理解を深める必要があると考えた。その1つとして、若者の東京一極集中に着目し、「なぜ東京に若者が集まるのか？」という問いを若者の意思決定の側面から明らかにするため、東京大都市圏に居住する大学生・短大生・専門学校生およそ1,000人に対して進学に関するWebアンケートを実施した。

【学会発表（発表題目、発表大会名、年月を記入）】

- ・なし

【論文発表又は著書発行（発表題目、著者、発表誌又は出版社、年月を記入）】

- ・杉本興運（2018）：大都市圏の若者にみる観光・レジャーの行動特性．地理, Vol.63, No.9, p.10-17.
- ・福井一喜（2018）：東京大都市圏の若者の観光・レジャーと SNS 利用．地理, Vol.63, No.9, p.18-25.
- ・小池拓矢・上原 明・杉本興運（2018）：都市のイメージとアニメに関連した観光．地理, Vol.63, No.9, p.26-31.
- ・金 景延（2018）：若者の新たな観光・レジャー空間としてのエスニックタウン－東京都新宿区大久保地域の事例－．地理, Vol.63, No.9, p.32-39.
- ・太田 慧・飯塚 遼・池田真理子（2018）：東京おける若者向けナイトラフ観光の具体性．地理, Vol.63, No.9, p.40-47.
- ・磯野 巧（2018）：若者によるインバウンド需要への対応－渋谷駅周辺域で活動する街頭ボランティアガイドの事例－．地理, Vol.63, No.9, p.48-55.
- ・福井一喜（2019）東京大都市圏に居住する若者の観光・レジャーにおける SNS 利用－「SNS 映え」を超越する若者たち－, Vol.14, No.1, pp.1-13.
- ・研究成果をまとめた書籍を出版予定だったが、応募した出版助成の審査に通らなかったため、来年度以降に持ち越しとなった。研究内容を昇華させ、執筆内容を再検討し、再度応募する予定である。

【学会会議開催実績報告】

- ・なし

【科学研究費補助金への応募状況、採択状況】

- ・なし

【国等の提案公募型研究費、企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況】

- ・なし

【受賞等】

- ・なし

【その他社会貢献】

[公的審議会・委員会等の公的貢献、生涯学習支援・普及啓発、国際貢献・国際交流等]

- ・なし

【研究成果による特許等の工業所有権の出願・取得状況】

(工業所有権の名称,発明者,権利者,工業所有権の種類・番号,出願年月日,取得年月日)

- ・なし

【研究分担額】

(研究代表者・分担者名,所属,金額 (円))

- ・杉本興運、首都大学東京、400,000 円
- ・磯野巧、三重大学、160,000 円
- ・飯塚遼、秀明大学、60,000 円
- ・池田真理子、日本学術振興会特別研究員 PD、60,000 円
- ・太田慧、首都大学東京、60,000 円
- ・福井一喜、流通経済大学、60,000 円